

# 住んでよかったと言える 千葉市のまちづくりを



## 子育て安心の 千葉市へ

### 学校の普通教室に エアコンの設置を

必要性の高い小中学校普通教室へのエアコン設置に速やかに取り組まなければなりません。児童・生徒を熱中症から守り、教育環境を整備するために、党市議団は、新年度エアコン設置の基本設計2,000万円を予算化することを求めました。

子どもの命を最優先に決断を。



### 待機児解消を 保育士の待遇改善で

近隣政令市や東京都などが保育士への独自支援を実施しているなか、千葉市の保育士との賃金格差が拡大し、他市へ流れています。

認可保育所を増やすこと、低すぎる保育士賃金の改善が必要であり、市独自の賃金引き上げなどに取り組むよう求めました。

### 子どもの笑顔のために 就学援助制度の改善を

党市議団の議会質問の結果、就学援助の申請用紙を在校生に配付することになりました。

入学準備金については現状の7月支給ではなく、必要な時期である3月に支給することを求めました。市は「検討する」と答えました。

### 就学援助制度を利用しよう

昨年度末に、小中学校すべての在校生に就学援助制度のお知らせと申請用紙が配付されました。

義務教育は無償（日本国憲法）が原則です。申請を行なってください。申請用紙は「千葉市 就学援助」と検索し、ダウンロードもできます。

入学準備金の内容  
(小学校) 40,600円  
(中学校) 47,400円



## 若者は まちの活力

若者は将来への希望に胸を膨らませながら、現実社会の厳しさに立ち向かっています。千葉市には学生や若者を支援する施策が乏しい状況です。

党市議団は若者への支援策を提案しました。

### 返済不要の 市独自の奨学金を

民間の財団による社会的養護が必要な子どもたちへの月5万円の給付型奨学金が実現することは前進です。しかし対象者はごく限られたものです。大学等の進学をあきらめるのは入学金等が準備できないことが大きな理由です。市独自の奨学金制度を求めました。

### 若者支援課をつくり、 総合的な相談・支援体制を

悩みの相談、就学への支援、就職・雇用の相談、住まいの支援など行政で実施できる様々な支援を行なうため、仮称「若者支援課」を立ち上げて対応することを求めました。

市は「千葉市子ども・若者支援協議会のさらなる活性化、機能強化に努める」と答えました。

### 市営住宅入居基準を緩和し、 4・5階に若者入居促進を

住まいの確保とともに、エレベーターのない市営住宅の4・5階を若者に提供し、若者と高齢者の入居者同士の交流を図るなど、市営住宅の入居基準を緩和し、入居促進につなげるよう求めました。

若者はまちの活力として位置づけ、支援をすべきです。